



知って  
おきたい!

## RevMate 薬剤管理モデル①

RevMate®にご協力いただいている看護師の皆さまへ、RevMateに関する情報や日頃の業務に役立つ情報をシリーズでお届けいたします。引き続き、レブラミド®・ポマリスト®の適正使用へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 入院時の薬剤管理モデル

入院時の薬剤管理を行うための参考として、誤投与対策を考慮した各医療機関の取り組みを紹介した入院時の薬剤管理モデルを掲載いたします。



- こちらに掲載している入院時の薬剤管理モデルは、RevMate実施施設のうち代表的な医療機関で行われているもので、各医療機関で実施している薬剤管理方法に対して変更を求めるものではありません。あくまでも参考事例としてご覧ください。

### 入院時の薬剤管理モデルNo.1

病床数	約700床		
血液専門病棟	有	病棟薬剤師	有
① 病棟への薬剤供給	●病棟薬剤師がレブメイトキット※に入れて手搬送する。		
② 薬剤の保管	●病棟内の管理は看護師または本人が行う(レブメイトキットで保管)。		
③ 配薬時	<ul style="list-style-type: none"> <li>●配薬準備は担当看護師ともう一人の看護師でダブルチェックを行う(ハイリスク薬の院内ルールに準ずる)。</li> <li>●PTPシートから出して配薬する場合には、蓋付きの配薬カップを用いて患者氏名を記載、配薬は与薬の直前に実施し、ベッドサイドにパソコン(PC)を持参、担当看護師が薬剤を電子カルテ上で確認後、ベッドネームや呼称で本人確認し与薬を行う。</li> </ul>		
④ 服薬確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>●PTPシートを確認する。</li> <li>●看護師が電子カルテに服用状況を入力する。</li> </ul>		



#### ●運用のポイント

1

レブメイトキットはナースステーションの鍵のかかる引き出しに収納

2

蓋付きの配薬カップに患者氏名を記載することで、飛び出し防止・誤認防止

3

電子カルテには「処方薬」の欄があり、服用量、残薬数、与薬した看護師名などを入力



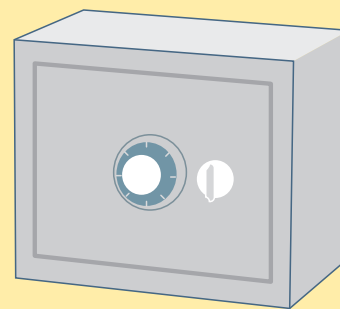
## 入院時の薬剤管理モデルNo.2

病床数	約200床		
血液専門病棟	無	病棟薬剤師	有
① 病棟への薬剤供給	● 薬剤師が薬袋に入れて病棟へ搬送(病棟看護師には必ず手渡し)する。		
② 薬剤の保管	● スタッフステーションの鍵のかかる保管庫に薬袋で保管する。		
③ 配薬時	● 病棟薬剤師が患者さんへの服薬指導を実施する。 ● 看護師がダブルチェックで配薬準備を行う(ハイリスク薬の院内ルールに準ずる)。		
④ 服薬確認	● 看護師が服薬を見届けて空のPTPシートを回収し、服薬状況を記録する。 ● 薬剤部に提出された空のPTPシートで、薬剤師が服薬確認する。		



### ● 運用のポイント

- 1 レブメイトキットはスタッフステーションの鍵のかかる引き出しに収納
- 2 服薬が完了するまで見届け、服薬状況を記録することで確認を徹底
- 3 薬剤師との連携が施設ルールで定められている  
(薬袋の手搬送やPTPシートの提出など)



- RevMateホームページ([https://www.revmate-japan.jp/ver6/professional/drug\\_management/inpatients.html](https://www.revmate-japan.jp/ver6/professional/drug_management/inpatients.html))に、入院時の薬剤管理を行うための参考として、誤投与対策を考慮した各医療機関の取り組みを紹介した入院時の薬剤管理モデルを掲載しています。  
薬剤管理モデルの資料は、RevMateホームページから印刷することも可能です。

#### ▶ 入院時の薬剤管理モデル

入院時の薬剤管理モデル		チャート	サマリー
No.1	レブメイト入院管理モデル (病床数: 約700床)		
No.2	レブメイト入院管理モデル (病床数: 約200床)		
No.3	レブメイト入院管理モデル (病床数: 約700床)		
No.4	レブメイト入院管理モデル (病床数: 約500床)		



RevMate®センター



お問い合わせ先  
☎ 0120-071025  
受付時間 9:00~18:00 (日・祝日・年末年始を除く)

レブメイト



<https://www.revmate-japan.jp/>

